



2024年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2023年11月10日

上場取引所 東

上場会社名 日本精機株式会社

コード番号 7287

URL <https://www.nippon-seiki.co.jp/>

代表者（役職名） 代表取締役社長
社長執行役員 （氏名） 佐藤 浩一

問合せ先責任者（役職名） 事業管理本部経理部
シニアマネジャー （氏名） 金子 基樹 （TEL）0258(24)3311

四半期報告書提出予定日 2023年11月14日 配当支払開始予定日 2023年12月6日

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (証券アナリスト・機関投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の連結業績（2023年4月1日～2023年9月30日）

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期 第2四半期	150,192	17.4	4,791	—	9,352	612.0	1,791	—	1,677	—	17,875	△11.9
2023年3月期 第2四半期	127,954	21.9	△250	—	1,313	—	△792	—	△1,131	—	20,281	—

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	27.80	27.77
2023年3月期第2四半期	△18.76	△18.76

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2024年3月期第2四半期	329,658	222,903	215,638	65.4
2023年3月期	356,233	206,375	199,542	56.0

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期	—	20.00	—	20.00	40.00
2024年3月期	—	20.00	—	—	—
2024年3月期(予想)	—	—	—	20.00	40.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年3月期の連結業績予想（2023年4月1日～2024年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	300,000	8.8	6,400	134.6	2,600	99.1	43.07

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社(社名) 、除外 一社(社名)

- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

- (3) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期2Q	60,907,599株	2023年3月期	60,907,599株
2024年3月期2Q	543,548株	2023年3月期	559,571株
2024年3月期2Q	60,355,905株	2023年3月期2Q	60,336,007株

- ② 期末自己株式数

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている将来に関する記述は、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する論旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予測の前提となる条件及び業績予測のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

2. 当社は、2023年11月30日に証券アナリスト及び機関投資家向けの四半期決算説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

3. 当社は、2022年10月3日に取得した共栄エンジニアリング株式会社に係る暫定的な会計処理が、2024年3月期第1四半期において確定しています。2023年3月期の数値についてこれらの影響を遡及修正しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	3
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	5
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	7
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(報告企業)	11
(作成の基礎)	11
(重要性がある会計方針)	11
(セグメント情報等)	12

1. 当四半期決算に関する定性的情報

当社は2022年10月3日に取得した共栄エンジニアリング株式会社に係る暫定的な会計処理が、第1四半期連結会計期間において確定しております。これらの影響を遡及修正した後の数値に基づき、前第2四半期連結累計期間及び前連結会計年度末との対比を行っております。

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における当社グループを取り巻く経済環境は、半導体ひっ迫の解消によりサプライチェーンの正常化が進み、全体としては緩やかな回復基調となりました。地域別に見ると、米国では旺盛な個人消費を背景に、景気は堅調に推移したものの、中国では不動産不況や個人消費の落ち込みによる経済の停滞が見られ、欧州諸国においてもインフレ抑制のための金融引き締めによる経済の減速が懸念されています。また、世界的なインフレの進行、日本と各国との金利差による円安の加速、ロシアによるウクライナ侵攻の長期化などにより依然として先行き不透明感が強まっております。

このような状況において、当社グループは、グループビジョン「技術により、世界の人々に安心・安全、そして、感動を提供するトータルソリューションカンパニー」の実現に向け、将来に向けた車載用計器等の設計・製造技術を中心に、高度な専門技術を蓄積・進化させてまいりました。また、持続的な利益創出を実現すべく原価低減活動に一層の重きを置き、より無駄のない筋肉質な企業体質の構築を推進いたしました。

主力となる車載部品事業においては、半導体ひっ迫による得意先の減産があった前年同四半期と比較し、四輪車用計器・二輪車用計器ともに増収増益となりました。民生部品事業においても、半導体ひっ迫の影響が緩和し、増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間の売上収益は、150,192百万円(前年同四半期比17.4%増)、営業利益は、4,791百万円(前年同四半期は250百万円の営業損失)、親会社の所有者に帰属する四半期利益は、1,677百万円(前年同四半期は1,131百万円の親会社の所有者に帰属する四半期損失)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

なお、第1四半期連結会計期間より報告セグメントの区分を変更しており、以下の前年同四半期については、前年同四半期の数値を変更後のセグメント区分に組み替えた数値で比較しております。

車載部品事業は、四輪車用計器・二輪車用計器等が増加し、売上収益は120,967百万円(前年同四半期比19.7%増)、営業利益は2,572百万円(前年同四半期は1,066百万円の営業損失)となりました。

民生部品事業は、空調・住設機器コントローラー等が増加し、売上収益は9,036百万円(前年同四半期比8.1%増)、営業利益は728百万円(前年同四半期比87.6%増)となりました。

樹脂コンパウンド事業は、樹脂材料の販売が増加し、売上収益は4,224百万円(前年同四半期比1.3%増)、営業利益は233百万円(前年同四半期比142.7%増)となりました。

自動車販売事業は、新車販売等が増加し、売上収益は12,379百万円(前年同四半期比14.5%増)となりましたが、営業利益は493百万円(前年同四半期比8.4%減)となりました。

その他は、情報システムサービス等が増加し、売上収益は3,585百万円(前年同四半期比0.2%増)、営業利益は537百万円(前年同四半期は143百万円の営業損失)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の資産については、現金及び現金同等物、棚卸資産が増加したものの、その他の金融資産の減少等により、前連結会計年度末と比較して26,574百万円減少し、329,658百万円となりました。

負債については、社債及び借入金の減少等により、前連結会計年度末と比較して43,102百万円減少し、106,755百万円となりました。

資本については、その他の資本の構成要素の増加等により、前連結会計年度末と比較して16,527百万円増加し、222,903百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の連結業績予想につきましては、最近の業況等を勘案し、2023年5月15日発表の業績予想を修正しております。詳しくは、本日(2023年11月10日)発表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

なお、業績予想につきましては、現時点で入手可能な情報に基づく将来の予測が含まれております。主要市場における需要動向、為替相場等に不透明な面があり、実際の業績が記載の見通しと異なる場合がありますことをご承知おき下さい。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	30,043	36,777
営業債権及びその他の債権	54,553	51,863
その他の金融資産	55,114	11,725
棚卸資産	92,475	101,198
その他の流動資産	12,811	9,045
流動資産合計	244,999	210,610
非流動資産		
有形固定資産	68,829	70,819
のれん及び無形資産	8,946	8,302
営業債権及びその他の債権	430	440
その他の金融資産	28,408	34,747
繰延税金資産	4,371	4,520
その他の非流動資産	248	217
非流動資産合計	111,234	119,048
資産合計	356,233	329,658

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2023年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	42,850	44,521
社債及び借入金	64,668	15,613
その他の金融負債	1,923	2,052
未払法人所得税等	1,808	6,085
短期従業員給付	5,142	6,529
引当金	686	658
その他の流動負債	1,411	1,378
流動負債合計	118,491	76,839
非流動負債		
社債及び借入金	14,468	11,149
その他の金融負債	3,223	2,567
長期従業員給付	3,875	4,085
引当金	285	293
繰延税金負債	8,738	11,318
その他の非流動負債	775	500
非流動負債合計	31,367	29,915
負債合計	149,858	106,755
資本		
資本金	14,494	14,494
資本剰余金	4,435	4,414
利益剰余金	149,233	149,711
自己株式	△972	△944
その他の資本の構成要素	32,351	47,962
親会社の所有者に帰属する持分合計	199,542	215,638
非支配持分	6,832	7,264
資本合計	206,375	222,903
負債及び資本合計	356,233	329,658

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

要約四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上収益	127,954	150,192
売上原価	△110,385	△128,096
売上総利益	17,569	22,095
販売費及び一般管理費	△18,259	△17,350
その他の収益	677	481
その他の費用	△238	△434
営業利益又は損失(△)	△250	4,791
金融収益	1,706	4,646
金融費用	△142	△85
税引前四半期利益	1,313	9,352
法人所得税費用	△2,106	△7,560
四半期利益又は損失(△)	△792	1,791
四半期利益又は損失(△)の帰属		
親会社の所有者	△1,131	1,677
非支配持分	339	113
四半期利益又は損失(△)	△792	1,791
1株当たり四半期利益又は損失(△)		
基本的1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	△18.76	27.80
希薄化後1株当たり四半期利益又は損失(△)(円)	△18.76	27.77

要約四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
四半期利益又は損失(△)	△792	1,791
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない 項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定される金融資産の利得及び損失	△1,199	4,679
純損益に振り替えられることのない 項目合計	△1,199	4,679
純損益に振り替えられる可能性のある 項目		
在外営業活動体の換算差額	22,273	11,403
純損益に振り替えられる可能性のある 項目合計	22,273	11,403
税引後その他の包括利益	21,074	16,083
四半期包括利益	20,281	17,875
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	19,066	17,289
非支配持分	1,215	585
四半期包括利益	20,281	17,875

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	14,494	4,438	149,946	△1,014	7,533	-
四半期包括利益						
四半期利益又は損失(△)	-	-	△1,131	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	△1,199	-
四半期包括利益合計	-	-	△1,131	-	△1,199	-
所有者との取引等						
配当	-	-	△1,206	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	6	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
自己株式の処分	-	△42	-	42	-	-
連結範囲の変動	-	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	△35	△1,206	42	-	-
期末残高	14,494	4,402	147,608	△972	6,334	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	10,858	18,392	186,257	8,616	194,874
四半期包括利益					
四半期利益又は損失(△)	-	-	△1,131	339	△792
その他の包括利益	21,397	20,198	20,198	875	21,074
四半期包括利益合計	21,397	20,198	19,066	1,215	20,281
所有者との取引等					
配当	-	-	△1,206	△213	△1,420
株式に基づく報酬取引	-	-	6	-	6
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	0	-	0
連結範囲の変動	-	-	-	-	-
所有者との取引等合計	-	-	△1,199	△213	△1,413
期末残高	32,256	38,591	204,124	9,618	213,742

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	その他の資本の構成要素	
					その他の包括利益を通じて公正価値で測定される金融資産の利得及び損失	確定給付負債(資産)の純額の再測定
期首残高	14,494	4,435	149,233	△972	8,637	-
四半期包括利益						
四半期利益	-	-	1,677	-	-	-
その他の包括利益	-	-	-	-	4,679	-
四半期包括利益合計	-	-	1,677	-	4,679	-
所有者との取引等						
配当	-	-	△1,206	-	-	-
株式に基づく報酬取引	-	6	-	-	-	-
自己株式の取得	-	-	-	△0	-	-
自己株式の処分	-	△28	-	28	-	-
連結範囲の変動	-	-	6	-	-	-
所有者との取引等合計	-	△21	△1,200	27	-	-
期末残高	14,494	4,414	149,711	△944	13,317	-

	親会社の所有者に帰属する持分			非支配持分	資本合計
	その他の資本の構成要素		親会社の所有者に帰属する持分合計		
	在外営業活動体の換算差額	合計			
期首残高	23,713	32,351	199,542	6,832	206,375
四半期包括利益					
四半期利益	-	-	1,677	113	1,791
その他の包括利益	10,931	15,611	15,611	471	16,083
四半期包括利益合計	10,931	15,611	17,289	585	17,875
所有者との取引等					
配当	-	-	△1,206	△81	△1,288
株式に基づく報酬取引	-	-	6	-	6
自己株式の取得	-	-	△0	-	△0
自己株式の処分	-	-	0	-	0
連結範囲の変動	-	-	6	△72	△65
所有者との取引等合計	-	-	△1,193	△154	△1,347
期末残高	34,645	47,962	215,638	7,264	222,903

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期利益	1,313	9,352
減価償却費及び償却費	6,063	6,386
減損損失	136	211
受取利息及び受取配当金	△1,071	△1,902
支払利息	142	85
固定資産売却損益(△は益)	△349	△81
営業債権及びその他の債権の増減額 (△は増加)	△7,186	7,854
棚卸資産の増減額(△は増加)	△11,338	△3,628
営業債務及びその他の債務の増減額 (△は減少)	△1,978	△5,321
引当金の増減額(△は減少)	△144	△39
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	73	90
為替差損益(△は益)	758	△118
その他	2,299	5,481
小計	△11,279	18,370
利息及び配当金の受取額	962	2,226
利息の支払額	△166	△44
法人所得税の支払額	△1,742	△2,504
営業活動によるキャッシュ・フロー	△12,226	18,048
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の純増減額(△は増加)	127	47,039
有形固定資産及び無形資産の取得による 支出	△4,862	△5,206
有形固定資産及び無形資産の売却による 収入	299	148
投資有価証券の取得による支出	△67	△39
貸付けによる支出	△6	△1
貸付金の回収による収入	117	26
その他	△9	△3
投資活動によるキャッシュ・フロー	△4,402	41,962

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	13,200	△48,200
長期借入れによる収入	9,000	-
長期借入金の返済による支出	△3,620	△3,969
リース負債の返済による支出	△994	△981
非支配持分への配当金の支払額	△967	△81
自己株式の純増減額(△は増加)	0	0
配当金の支払額	△1,206	△1,206
社債の償還による支出	-	△30
その他	-	△85
財務活動によるキャッシュ・フロー	15,411	△54,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,945	1,279
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	728	6,734
現金及び現金同等物の期首残高	24,796	30,043
現金及び現金同等物の四半期末残高	25,525	36,777

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(報告企業)

日本精機株式会社(以下「当社」という。)は日本国に所在する企業であります。当第2四半期連結会計期間(2023年7月1日から2023年9月30日まで)及び当第2四半期連結累計期間(2023年4月1日から2023年9月30日まで)の要約四半期連結財務諸表は、当社及びその子会社(以下「当社グループ」という。)から構成されております。当社グループは車載部品事業、民生部品事業、樹脂コンパウンド事業、自動車販売事業を主な事業としております。

(作成の基礎)

(1) IFRSに準拠している旨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、国際会計基準第34号「期中財務報告」に準拠して作成しております。当社は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)第1条の2に掲げる「指定国際会計基準特定会社」の要件をすべて満たしているため、同第93条の規定を適用しております。

(2) 測定の基礎

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、公正価値で測定される特定の金融商品等を除き、取得原価に基づき計上しております。

(3) 機能通貨及び表示通貨

当社グループの要約四半期連結財務諸表は、当社の機能通貨である日本円(百万円単位、単位未満切捨て)で表示しております。

(4) 会計方針の変更

当社グループは、第1四半期連結会計期間より、IAS第1号財務諸表の表示(重要な(significant)会計方針に代わって重要性がある(material)会計方針を開示するための改訂)、IAS第12号法人所得税(単一の取引から生じた資産及び負債に係る繰延税金の会計処理の明確化)を適用しています。当該基準書を適用したことによる、当要約四半期連結財務諸表に与える重要な影響はありません。

(重要性がある会計方針)

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要性がある会計方針は、前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した会計方針と同様であります。

(セグメント情報等)

第1四半期連結会計期間より、当社グループの目標管理や業績評価の管理区分を変更したことに伴い、報告セグメントの区分を変更しております。「民生部品事業」に含まれていたアフターマーケットパーツ等を「車載部品事業」に含めております。

また、従来報告セグメントとしていたディスプレイ事業について重要性が乏しくなったため、「その他」に含めて記載する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の区分方法により作成したものを記載しております。

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は次のとおりであります。

前第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	車載部品 事業	民生部品 事業	樹脂コン パウンド 事業	自動車 販売事業	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	101,037	8,356	4,167	10,813	124,375	3,578	127,954	—	127,954
セグメント間の 内部売上収益又は振替 高	—	—	792	4	796	5,671	6,467	△6,467	—
計	101,037	8,356	4,960	10,817	125,170	9,250	134,422	△6,467	127,954
セグメント利益又は 損失(△)	△1,066	388	96	539	△42	△143	△186	△63	△250
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,706
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△142
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	1,313

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・モジュールの製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算等を含んでおります。

2 セグメント利益又は損失(△)の調整額△63百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益又は損失(△)は、要約四半期連結損益計算書の営業損失(△)と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注)1	合計	調整額 (注)2	要約四半 期連結損 益計算書 計上額 (注)3
	車載部品 事業	民生部品 事業	樹脂コン パウンド 事業	自動車 販売事業	計				
売上収益									
外部顧客への売上収益	120,967	9,036	4,224	12,379	146,606	3,585	150,192	—	150,192
セグメント間の 内部売上収益又は振替 高	—	—	678	5	684	5,545	6,230	△6,230	—
計	120,967	9,036	4,902	12,384	147,291	9,131	156,422	△6,230	150,192
セグメント利益	2,572	728	233	493	4,027	537	4,565	226	4,791
金融収益	—	—	—	—	—	—	—	—	4,646
金融費用	—	—	—	—	—	—	—	—	△85
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	—	—	9,352

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、液晶表示素子・モジュールの製造販売、貨物運送、ソフトウェアの開発販売、受託計算等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額226百万円は、セグメント間取引消去等であります。

3 セグメント利益は、要約四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。